

仕 様 書

1 事業名

「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録5周年記念「三内丸山縄文祭り」企画運営業務

2 事業目的

令和8年度に「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録5周年を迎えるにあたり、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の中核となる三内丸山遺跡の更なる価値や魅力を情報発信することが求められる。ついては、一般の方々に様々なメニューを楽しみながら遺跡や縄文文化を体感してもらうことを目的としたイベントを実施するものである。

3 委託期間

令和8年4月1日（水）から令和9年3月31日（水）まで

4 事業概要

イベントの企画、設営、運営、広報、発注者や遺跡管理者等との連絡調整、什器・備品・機材の手配・造作等といった企画の遂行に必要な業務一式とし、下記の業務内容に沿ったものとする。

(1) イベント開催日程

ア 三内丸山縄文春祭り（以下、「春祭り」という。）

日 時：令和8年4月18日（土）・19日（日）の2日間
午前9時から午後5時

会 場：三内丸山遺跡センター

入 場 料：無料

イ 三内丸山縄文夏祭り（以下、「夏祭り」という。）

日 時：令和8年7月18日（土）・19日（日）の2日間
午前9時から午後6時

会 場：三内丸山遺跡センター

入 場 料：無料

ウ さんまるJOMONの日（以下、「JOMONの日」という。）

日 時：令和8年10月24日（土）・25日（日）の2日間
午前9時から午後5時

会 場：三内丸山遺跡センター

入 場 料：無料

エ 三内丸山縄文冬祭り（以下、「冬祭り」という。）

日 時：令和9年1月30日（土）・31日（日）の2日間
午前9時から午後5時

会 場：三内丸山遺跡センター

入 場 料：無料

(2) 経費

19,000 千円を上限とする。(消費税及び地方消費税を含む。)

5 業務内容

(1) 各イベント運営

イベントにおける下記のメニューについて運営すること。総括はトラブル等に対応すること。

メニュー		イベント				備考
		春祭り	夏祭り	J O M O Nの日	冬祭り	
ア	業者提案型メニュー	○	○	○	○	各イベント で2つ以上
イ	眺望体験 (ア)高所作業車		○	○		荒天時は (イ)を実施
	(イ)掘立柱建物	○			○	
ウ	生活体験 (ア)釣り	○	○	○	○	
	(イ)弓矢	○	○	○	○	
エ	道具活用 体験 (ア)クルミの殻割り		○		○	
	(イ)薪割り	○		○		
	(ウ)出土品 ハンズオン	○	○	○	○	
	(エ)植生等を学ぶ			○		
オ	クイズラリー	○	○	○	○	
カ	発掘体験	○	○	○		
キ	音楽イベント		(○)	(○)		夏祭り又は J O M O N の日に実施

ア 三内丸山遺跡に関する業者提案型メニューの実施

令和8年度に「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録5周年を迎えるにあたり、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の中核となる三内丸山遺跡の更なる価値や魅力を情報発信することが求められる。ついては、敷地を使用し、三内丸山遺跡をPRできるメニューを各イベントで2つ以上企画し、実施すること。三内丸山遺跡に馴染みのない人でも足を運びたくなり、幅広い世代が楽しめる内容とすること。遺跡の保護に配慮し、悪天候の場合の対応も想定すること。

例) 音楽イベント、キャラクターショー、キッチンカー等によるマルシェ
(マルシェ等の出店料について、発注者は関知しない。)

また、当日実施しているイ〜カのメニューの参加率を向上させるための仕掛け・仕組みを考案し、実施すること。なお、提案されたメニューが当センターでこれまでに実施されたものであった場合は別メニューへの変更を依頼することがあります。

イ 遺跡眺望体験の実施

夏祭り及びJ OMONの日において、高所作業車を使用して、三内丸山遺跡を高所から眺望する体験を実施すること。バケット搭乗後に解説を行うガイドボランティア(1日あたり2名)は当センターで手配する。ガイドボランティアに対し、半日につき1人1, 200円の謝金を各日の午前又は午後の業務終了時に支給すること。

また、春祭り、冬祭り及び悪天候により眺望体験が実施できない場合において、麻ひもや雪の坂に見立てたベニヤ板を使って復元大型掘立柱建物の構造や柱の建て方を考えてもらう体験を実施すること。

(ア) 高所作業車による眺望体験

高所作業車(高さ15m、4tトラック式)と高所作業車を操作するオペレーターを配置すること。オペレーターの業務には、高所作業車の操作以外にも、作業車への仮設昇降階段の設置、撤去も含むものとし、作業については、遺跡見学者の安全に十分配慮すること。

また、眺望体験実施場所に強風等で倒れないよう発注者が用意したテント及びウエイトを設置すること。なお、搭乗者用のヘルメット及び安全帯は発注者が用意する。

(イ) 復元大型掘立柱建物の構造や柱の建て方を考えてもらう体験

実施するイベントごとに、開催日前日までに下表のとおり調達すること。イベント当日は、掘立柱に見立てた紙管を柱穴に見立てた輪投げリングの中に立てる体験を運営すること。

区分	内容	数量
紙管	長さ1.5m×径10cm程度、肉厚25mm未満	12点
白いベニヤ板	白色ポリベニヤ1825x915x2.5mm	2枚
麻紐	厚:6mm、長さ:10m	10巻
輪投げリング	プラスチック製、色:フリー	12個

ウ 縄文時代当時の食糧事情に合わせた生活体験の実施

春祭り、夏祭り、J OMONの日及び冬祭りにおいて、実際に遺跡から発掘された動物や魚について学ぶことのできる体験やワークショップを実施すること。

(ア) 釣り体験

4回のイベントごとに受注者の指導のもと開催日前日までに下表のとおり製作し、イベント当日は釣り体験を運営すること。

a. 釣り竿セット:5セット

	材質	規格
釣り竿	木製または竹製	長さ 70cm
釣針	鹿角製または類似品	長さ 5cm×幅 2cm

b. 魚用パネル：26 枚

当該製作物のデザインについて下表のとおり（原寸大を基本）とするが、詳細は発注者と協議の上、製作すること。パネルの裏側に魚の名前を記載し、発注者から提供された特徴を印字すること。

屋外で使用するため、防水仕様とし、釣針で釣ることができるよう、針金等で直径 3 センチ程度の輪を作り各パネルに固定すること。各季で異なる種類を発注者の指導のもと製作すること。

種類例	数量
サバ	4 枚
ニシン	3 枚
アイナメ	3 枚
マイワシ	3 枚
ドジョウ	4 枚
シャコ	3 枚
シジミ	3 枚
イガイ	3 枚

(イ) 弓矢体験

4 回のイベントごとに受注者の指導のもと開催日前日までに下記のとおり製作し、イベント当日は弓矢体験を運営すること。

a. 弓矢セット：10 セット

弓 1 張、矢 3 本を 1 セットとし、弓と矢を束ねて携行できるようにすること。

	材質	規格
弓	木製または竹製	長さ 70cm 程度
矢	木製または竹製 (矢じりは軟質素材)	長さ 40cm 程度

b. 動物や鳥類用パネル：30 枚

当該制作物のデザインについて下表のとおり（原寸大を基本）とするが、各季で異なる種類を発注者指導のもと製作すること。

屋外で使用するため、防水仕様とし、自立しかつ、風で飛ばないように工夫し製作すること。

種類例	枚数
ツキノワグマ	1 枚
カモシカ又はシカ	1 枚
イノシシ	1 枚
キツネ・タヌキ	5 枚
鳥類	5 枚
ウサギ等の小動物	17 枚

エ 縄文時代の道具を活用する体験の実施

縄文時代に使われていた道具や当時の植生について理解を深めてもらう機会となる体験やワークショップを実施する。

(ア) 自然礫を用いたクルミの殻割り体験

夏祭り及び冬祭りにおいて、石皿と敲石を用いたクルミ割り体験を運営すること。実施するイベントごとに、開催日前日までに下表のとおり調達すること。なお、クルミを割るための石皿及び敲石は発注者が手配する。

区分	内容	数量
革製手袋	L L, L, Mサイズの革製手袋	各 7 双
軍手	L, M	各 120 双
軍手	子ども用	100 双
ゴーグル	子ども用	100 個
ゴーグル	大人用	250 個
堅果類	殻付きクルミ（食用） 令和 7 年に収穫されたもの（予定）	1,500 個以上
ブルーシート	3.6m×5.4m	1 枚
敷物	麻等の自然素材のもの	1 枚

(イ) くさびを用いた薪割り体験

春祭り及び J OMON の日において、木製のくさびを用いた薪割り体験を運営すること。実施するイベントごとに、開催日前日までに下表のとおり調達すること。

区分	内容	数量
丸太 1	直径 30cm、長さ 40cm 程度	50 本
丸太 2	直径 15cm、長さ 30cm 程度	25 本
丸太の加工	※上記丸太の他に、発注者が丸太を 20 本程度支給する。これらの丸太に、クサビを入れやすいように、事前に溝等の加工をする。	1 式
くさび	材質は落葉広葉樹とする。 幅 4cm、高さ 10cm、厚さ 4cm 程度	20 個
片手かけや	頭部径 15cm、柄の長さ 36cm 程度	5 本

(ウ) 出土品のハンズオン体験

春祭り、夏祭り、J OMONの日及び冬祭りにおいて、本物の出土品に触れるハンズオン体験を運営すること。春祭り開催日前日までに下表のとおり調達すること。なお、夏祭り、J OMONの日及び冬祭りは春祭りで調達したものを再度使用する。

区分	内容	数量
テーブル	幅 180cm×奥行 60cm×高さ 80cm 程度	2 台
テーブルクロス	上記テーブル 2 台分を覆うことができる大きさのもの	2 枚

(エ) 遺跡や縄文時代の植生等を学ぶ体験

J OMONの日において、遺跡や縄文時代の植生等に関して学ぶための散策を行う。三内丸山遺跡センター職員が解説を行うので、人数確認や資料配付等を行う補助要員を最低 1 名以上配置すること。1 日 1 回 2 0～3 0 分程度行うこととする。

オ クイズラリーの実施

春祭り、夏祭り及び J OMONの日において、遺跡や縄文時代に関するクイズラリーを実施すること。

クイズは看板等に設置し、来館者に分かりやすいように工夫する。

発注者から提供された問題等の原稿を分かりやすく来館者に提示するようデザイン及びレイアウトを行う。

冬祭りにおいては、オリジナルノートに答えを書き込んでもらう。オリジナルノートは、別紙印刷物仕様書のとおり作成し、冬祭り実施日前に納品すること。

カ 発掘体験イベントの実施

春祭り、夏祭り及び J OMONの日において、子供向けには宝探しのような体験、大人向けには実際の発掘に近い体験を実施する。

(ア) 子供向け発掘体験

イベント開催日前日までに砂場を発注者立会いのもと設置し、イベント終了後に撤去すること。イベント当日は、砂に埋めた教材用ミニチュア土器・土偶及びアクリルアイスを移植ゴテで掘り出す体験を運営すること。砂及び移植ゴテは発注者が用意する。

また、実施するイベントごとに、開催日前日までに下表のとおり調達すること。

区分	数量
教材用ミニチュア土器・土偶	400 個
アクリルアイス	6 kg

(イ) 大人向け発掘体験

イベント開催日前日までに、発注者立会いのもとプラ舟に砂を入れる。イベント終了後、砂を撤去すること。イベント当日は、砂に埋めた発掘用土器・石器を移植ゴテ、竹串及びミニほうきで掘り出す体験を運営すること。砂、移植ゴテ、竹串及び発掘用土器・石器は発注者が用意する。

また、実施するイベントごとに、開催日前日までに下表のとおり調達すること。なお

プラ舟は夏祭り、J OMONの日は春祭りで調達したものを再度使用する。

区分	内容	数量
プラ舟	容 量:140 リットル サイズ: 外寸(mm)/W1214×H206 × D749 内 寸 (mm)/W1140 × H195 × D707 底 寸 (mm)/W1080×D647 重量: 6.6kg 色: 黒 材質: PP	3 個
定規	材質: アルミニウム 色: ブラック スタイル: モダン 目盛り範囲: 15 センチメートル	10 本
ミニほうき	幅(mm)/70 全長(mm)/220 タイプ/柔目毛丈(mm)85 仕 様/パーム	10 本

キ 音楽イベントの実施

夏祭り又はJ OMONの日において、音楽イベントを実施すること。近隣の中学校、高等学校等へ出演の依頼等をする場合は、発注者から依頼等を行う。

(2) 広報業務

ア チラシの製作

各イベントにおいて、実施日当日にエントランスで高校生ボランティアが配布するチラシを制作すること。また、Instagram やX等に掲載するためのデータ制作すること。(サイズは程度とする。) デザインは、イベントの楽しさをアピールすることを考慮したデザインとし、詳細は発注者と調整すること。

＜規格・仕様＞ A4 (表面:フルカラー)

＜印刷枚数＞ 10,000 枚程度で発注者が指定する枚数とすること

＜納品方法＞ 発注者が指定する期日・場所に納品すること

イ その他

イベントの開催を周知する効果的な広報を行うこと。

例) テレビ・新聞・イベント情報サイト・各種SNS等

(3) 企画運営実施に関する業務

企画の実施に関する一切の業務を行うこと。

ア 業務実施計画書、運用マニュアル等の必要資料の作成

・不測の事故等が発生した場合は受注者が責任をもって対応することとし、事故対応の方法等について実施計画書に含むこと。

・状況の変化に応じて適宜修正を行い、発注者に情報共有を図ること。

・各イベントのマニュアルを作成することとし、その内容については発注者と協議を行うこと。

イ 会場設営

・イベントの実施に必要な什器・備品・機材等の各種手配や事務手続き、設置・撤去を行うこと。

- ・レイアウト図を作成すること。
- ・イベント終了後に原状回復すること。受注者の責めに帰する理由による会場内の設備の破損等により修復が必要な場合は受注者が負担すること。

ウ 運営スタッフの手配

- ・イベントの運営に要するスタッフを確保し、適切に配置すること。また、スタッフに対する交通費等の支弁を行うこと。また、業務内容、来場者サービスの徹底、緊急時の対応の周知を図るため、各スタッフの従事前には必ずレクチャーを行うこと。各イベント開催2日前までに「運営スタッフ配置表（任意様式）」を作成し、発注者へ提出すること。

なお、発注者が募集する高校生ボランティア（各日15名程度）についても適切に配置するものとする。

- ・下記の物品を春祭り開催日2日前までに納品すること。

高校生ボランティア配布用図書カード（1,000円） 計240枚

エ 連絡調整

- ・遺跡敷地や施設内の使用について、遺跡・施設管理者の使用・占有許可を得ること。関係機関との打ち合わせ等に要する費用は受注者が負担すること。
- ・スケジュール調整等においては発注者との連絡・調整を行うこと。
- ・来館者の怪我・負傷等を防止する措置を講じるとともに、救護体制を備えること。また、不測の事態に備え、必要な保険に加入すること。

6 業務報告書の提出

本業務の完了後、業務完了報告書（紙媒体及び電子データにより各1部）提出すること。併せて、本業務における制作物・造作物のデータを記録媒体に保存の上、提出すること。

7 その他

- （1）本業務の実施に当たっては、発注者と十分な連絡調整を図りながら行うこと。
- （2）発注者が募集する高校生ボランティアについては、募集人数に達しない場合があることに留意すること。
- （3）本業務により制作した制作物の著作権は、発注者に帰属するものとする。マーク、キャラクターデザイン、ネーミングなどの知的財産権及びその使用权も発注者に帰属するものとする。また、発注者が業務において使用する場合は、受注者の承諾無くして自由に使用できるものとする。
- （4）本業務により調達した物品の所有権は、発注者に帰属するものとする。
- （5）発注者の求めに応じ、制作物のデータ等を提出すること。
- （6）この仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた事項については、発注者と受注者が双方協議の上、定めることとする。

別紙(会場イメージ図)

